



養成施設等研修プログラム



●座学 関係

	研修科目名	研修内容
1	介護現場における虐待防止、身体拘束廃止に向けて	介護現場での虐待防止や身体拘束廃止についての考え方、具体的な方策、その理解を深める。
2	介護現場のリスクマネジメントについて	介護現場におけるリスクをいかに回避し、事故防止につなげていくかを学ぶ。
3	介護職員のチームワークの構築とチームケアの実践について	チームケアを理解し、職員間の関係性について考える。
4	コミュニケーション研修	良い介護サービス提供のために必要なコミュニケーションの視点を学ぶ。
5	高齢者施設における感染対策	標準予防策を継続して感染予防に努めましょう。
6	介護職員のための接遇マナー講習	介護現場で必要な接遇について学ぶ。
7	介護職員の職業倫理と法令遵守について	プロ意識や守秘義務などについて学び、専門職としての意識づけを目指す。
8	介護現場でのプライバシー保護の意義と理解について	専門職として、プライバシーを踏まえた利用者との接し方を理解する。
9	介護職員のための認知症の対応について	認知症の各症状の理解と対応策、家族支援などを学ぶ。
10	事例で学ぶ認知症	認知症の事例を通して、現場での対応について学ぶ。
11	介護職視点の看取りケアについて	介護施設における看取りケアについて考える。

●介護技術 関係

12	今日から使える介護技術研修① (移乗・移動・体位変換)	福祉用具の活用を含め、ご利用者と介助者の双方にとって、安全で安楽な移動・移乗・体位変換を学ぶ。
13	今日から使える介護技術研修② (腰痛予防)	日頃の自分の身体の動かし方を見つめ直して腰痛を予防する事を学ぶ。
14	今日から使える介護技術研修③ (排泄)	基本のおむつ・パッドの理解を深め、一人一人に合った排泄ケアを学ぶ。
15	今日から使える介護技術研修④ (食事)	安全で楽しい食事の工夫と、誤嚥を防ぐ食事介助等を学ぶ。
16	今日から使える介護技術研修⑤ (入浴・清潔)	安全で気持ちの良い入浴介助を学ぶ。入浴できない時の清拭と部分浴等も学ぶ。

※ プログラムは変更になることがありますので、当会ホームページ又は県のホームページをご確認ください。

受講された事業者様の声



介護職として求められていることを認識できた



座学だけの研修ではなく、実際に行くことで、自分の技術を振り返る機会が得られた。

